ウェブサイトからもお申込みいただけます ▶ https://inclusive-society.net/

【共生社会フォーラムin山梨 参加申込書】 ご記入いただいた個人情報は、 本事業以外の目的には使用いたしません。

1	法人名 (事業所名) たは学校名		*コース ① 一般プログラ	ひ(基調講演等)を	ご希望の方は、この欄は未記入で	も結構です。		
連絡先 電話番号		住所	〒					
		電話番号		FAX				
		E-mail		@				
]-		は、コース・ひとダブル受講を推奨!	_		I		
参加希望コース □にチェックマの上、コース ③ 希望者は 必ず「中堅」または「学生・新任者」に○			参加者氏名・ふりがな お名前の上にふりがな		種・職階 種・職階・福祉職経験年数 生の場合:学部・学科・学年	コース① 希望者は 記入不要		
□ コース ① 一般プログラム□ コース ② 企業向け研修□ コース ③ 福祉職向け研修中堅 / 学生・新任者			代表者(連絡窓口)					
□ コース① 一般プログラム□ コース② 企業向け研修□ コース③ 福祉職向け研修中堅 / 学生・新任者								
□ コース 1 一般プログラム□ コース 2 企業向け研修□ コース 3 福祉職向け研修中堅 / 学生・新任者								
推薦欄※						ます。		
	(推薦者)法人名等	・役職・氏名				(FI)		
	備考欄 ※情報保障やバリアフリー対応について配慮が必要な場合はこちらにお書き添えください。							
		double to the second		T on Refer to Live Section 2		7 / 14 10		
		状况によりご希望	!どおりの対応ができない場合があります。そ	との際はあらかじぬ	りこ連絡いたしますので、ご了え	¥ください。 ───		

所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦を得てください。

(公財)糸賀一雄記念財団 FAX: 077-567-1708 E-mail: itoga-oubo@itogazaidan.jp 〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138滋賀県立長寿社会福祉センター内 TEL: 077-567-1707

【厚生労働省主催】令和6年度 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

in 山梨 2024 [関東甲信越 ブロック]

福祉の思想に学び、実践し、語る人に

表現活動 坂本和輝 / 基調講演 奥田知志氏 認定NPO法人抱樸

2024(令和6)年9月12日(木)・13日(金)

リッチダイヤモンド総合市民会館(山梨県甲府市青沼3丁目5-44)

定員100名 (一般参加 70名/企業向け研修 10名 [9/12のみ] 定員100名 (福祉職研修 20名 [中堅12名/学生・新任者8名(両日参加)]

参加無料

実施公益財団法人糸賀一雄記念財団、共生社会フォーラムin山梨開催委員会

[開催委員会構成団体] 社会福祉法人 八ヶ岳名水会、社会福祉法人 三富福祉会、社会福祉法人 さかき会、 社会福祉法人 信和会、社会福祉法人 あそびじゅく、社会福祉法人 不二の里森福祉会、

[後援団体] 山梨県知的障害者支援協会

申込・問合せ 公益財団法人 糸賀一雄記念財団 HP https://inclusive-society.net/ 〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内 TEL 077-567-1707 FAX 077-567-1708 E-mail itoga-oubo@itogazaidan.jp

社会情勢に応じ、マスク着用、手指消毒、検温へのご協力をお願いすることがあります。

コース10·コース2は、共生社会や多様性に関心ある福祉業界以外の方もふるってご参加ください。

コース 1 一般プログラム

対象:どなたでも

表現活動鑑賞や基調講演、 映像プログラム

表現活動を鑑賞し、基調講演では 共生社会の実現に向けて先駆的に 取り組みを推進する実践者からお 話をうかがいます。映像プログラム では、日本の障害福祉の父と言わ れる「糸賀一雄」の思想と実践につ いて学びます。

*1日目14:00までのプログラムに参加

定員 70名

コース② 企業向け研修

対象:企業経営者・管理職等

共生社会づくり リーダー養成研修

SDGsや多様性の求められる現代、誰もが働きやすい職場にしていくのは非常に難しいものです。そこで、日常的にケアを通じて多様な人とのコミュニケーションを図っている福祉業界の技術や福祉の思想・視点を学ぶプログラムです。

*1日目14:00以降のプログラムに参加 コース **①**とダブル受講を推奨します

定員 10名

コース 3 福祉職向け研修

対象:福祉職•学生

共生社会における 語り部等養成研修

津久井やまゆり園事件を契機に、福祉に携わる人々の資質や対話のあり方が問われています。対象別に2つの分科会(下部参加申込方法参照)にわかれ、共生社会の基本理念について考え、普及啓発のための語り部を目指すプログラムです。

*2日間すべてのプログラムに参加

定員 20名

(第1分科会12名/第2分科会8名)

参加申込方法

裏面申込書(FAX/Eメール)またはウェブサイト(https://inclusive-society.net/)にてお申し込みください。 申込締切: 令和6年8月28日(水) ※定員になり次第、締め切りとします。



いずれのコースも事前申込が必要です。裏面申込書(FAX/メール)またはウェブサイトの申込フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。「コース①一般プログラム」と「コース②企業向け研修」に参加条件はありませんが、「コース③福祉職向け研修」は右の条件を満たす方が対象です。また、コース③福祉職向け研修参加者には事前に資料をお送りします。あらかじめ資料を読んで研修に臨んでください。

<第1分科会> 福祉支援語り部(中堅)

福祉職や教員および行政職としておおむね5年以上の現場経験を有し、職場で中堅職員、管理者等として職員を指導・助言する立場にある人。 研修を経て共生社会の基本理念を職場内で実践し、語り広めること が期待できる人で、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉 法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦された人。

<第2分科会> 学生·新任者

在籍する学部等を問わず、福祉に強く関心がある大学生等。または、 福祉施設・事業所等に就職しておおむね数年以内の新任者や内定者。

坂本 和輝

登壇者プロ

ボーカリスト

平成10年10月生まれ。歌うこと、 音楽を通してみんなと楽しむこ

とが大好き。支援学校高等部在学中は音楽部に所属してボーカルで活躍する。現在はジャンベのグループ「杜のゆかいな仲間たち」へ所属し、イベントに出演する傍ら、ソロボーカルでの活動もしている。その歌声は聞く人を前向きにし、元気を与えてくれる。

奥田 知志 氏

認定NPO法人抱樸 理事長

1963年滋賀県生まれ。関西学院大学・大学院卒。東八幡キリスト教会牧師、

NPO法人抱樸理事長、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、一般社団法人全国居住支援法人協議会共同代表。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。著書多数。

▶▶ 1日目 令和6年9月12日(木)

7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
	コース 1 一般プログラム	コース❸ 福祉職向け研修					
10:00 - 10:05	開会あいさつ						
10:05 - 11:00	表現活動「坂本和輝の元気になるLiveと活動紹介」						
11:00 - 12:00	基調講演「いのちに意味がある 〜私たちは何を大切にしてきたのか〜」 奥田 知志 氏						
13:00 - 14:00	映像プログラム NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に(※)」						
※コース ① は、14:	00で終了 コース② 企業向け研修	(14:00 - 14:15 会場移動・休憩)					
14:15 - 17:30	ミニ講義+グループセッション 福祉の世界に学ぶ講義(障害福祉を拓いた先人 の実践と思想、ビジネスや企業経営に活かす福 祉的視点等)および障害者や生きづらさのある 人の雇用をテーマとしてPCAGIP(ピカジップ)法 を用いた対話型のグループセッションを通じて 多様な人とのコミュニケーションを学びます。	グループワーク研修① (第1分科会「福祉支援語り部(中堅)」 /第2分科会「学生・新任者」) いずれの分科会でも福祉の思想・普遍的価値の 共有を目的として、基調講演や映像プログラムを 題材に、個人の内面に向き合うワークとグループ ディスカッションを行います。					

▶▶ 2日目 令和6年9月13日(金) コース③ 福祉職向け研修 受講者のみ対象

15:00 - 16:00	全体共有・講評/まとめ・ふりかえり/閉会あいさつ
13:00 - 15:00 コース3対象	グループワーク研修③ (第1分科会「福祉支援語り部(中堅)」/第2分科会「学生・新任者」) 第1分科会ではグループワーク研修①や②を踏まえて、それぞれが自らの職場に戻って語りの場を持 つことができるよう、メンターのサポートを受けながらアクションプランを作成します。第2分科会では、 グループワーク研修②の議論を引き継ぎながら、玉木幸則氏とともに、"学生一人ひとりが抱える生き づらさ"を言葉にしながら、"福祉=幸せの追求"や"そもそも人が生きること"について、向き合います。
9:30 - 12:00 コース3対象	グループワーク研修② (第1分科会「福祉支援語り部(中堅)」/第2分科会「学生・新任者」) 第1分科会では、やまゆり園での事件を題材に、"生きる意味のない命がある""障害者は社会に不幸を もたらすだけ"という考えに同調する意見などに返す言葉をもつためのワークを行います。第2分科会 では、NHK Eテレ「バリバラ」の出演などで知られる玉木幸則氏とともに、"そもそも障害とはなんだろ う?"をテーマに率直に語り合います。

※ラストメッセージ この子らを世の光に

日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一二らについて紹介。障害のある子ども たちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。

